

# 2004 TRIAL RULES

付 **19** 則

## 全日本トライアル大会特別規則

### 1 適用の範囲

トライアル全日本選手権は以下に記す全日本選手権特別規則、トライアル競技規則（220～229頁）、国内競技規則（35～42頁）、および各大会の主催者から配布される大会特別規則（公式通知）によって開催される。

### 2 セクションの公認

大会前日に査察が行なわれ、査察団によって最終的にセクションが認定される。査察団は審査委員長を団長とし、競技監督、セクション設定責任者、**セクション査察員**で構成される。

### 3 オブザベーションエンクロージャ

一般観客用エリアとセクションの間に、オフィシャル、ライダー、メカニックが立ち入れるエリア（オブザベーションエンクロージャ）を設けることが望ましい。

### 4 開催クラス

国際B級部門、国際A級部門、国際A級スーパークラス部門とする。

### 5 参加資格

- 5-1 国際A級スーパークラス
- 5-1-1 前年度全日本選手権国際A級スーパークラスランキング上位10名、MFJトライアル委員会が特に認める者（世界選手権ポイント獲得者等）、および前年度国際A級ランキング上位5名の中の希望者（MFJ事務局への手続きが必要）。
- 5-1-2 当該年に有効なライセンス所持者。
- 5-2 国際A級、国際B級
- 5-2-1 それぞれ当該年に有効なライセンス所持者。
- 5-3 メカニック
- 5-3-1 当該年に有効な国内B級以上のライセンス所持者。

### 6 出場料およびMFJ共済会掛金

- 6-1 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。
- 6-2 いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- 6-3 大会が取り止めになった場合、または参加が拒否された場合のみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これに当てはまらない）

	総 額	内 訳	
		出場料	MFJ共済会掛金
国際A級部門（スーパークラス含む）	12,000円	11,500円	500円
国際B級部門	12,000円	11,500円	500円
メカニック	6,000円	5,500円	500円

## 7 ゼッケンナンバー

全日本選手権の年間指定ゼッケンは以下の基準による。

- 7-1 国際A級スーパークラス
  - 7-1-1 前年度国際A級スーパークラス上位から指定する。（ランキング10位まで）
  - 7-1-2 トライアル委員会が特に認める者（世界選手権ポイント獲得者等）。
  - 7-1-3 前年度国際A級上位から指定する。（上位**5名**の希望者）
- 7-2 国際A級
  - 7-2-1 前年度国際A級で、スーパークラスを希望しなかった者を指定する。（上位**5名**から）
  - 7-2-2 前年度国際A級スーパークラスからの降格者を指定する。
  - 7-2-3 前年度国際A級上位から指定する。（ポイント獲得者）
  - 7-2-4 前年度国際B級からの自動昇格者を指定する。
- 7-3 国際B級
  - 7-3-1 国際A級への昇格者を除く、前年度のランキング上位から指定する。（ポイント獲得者）
  - 7-3-2 上記以外は各大会ごとに**主催者**が指定する。
- 7-4 ナンバープレートの色は以下のとおり。
  - 7-4-1 国際A級スーパークラス：赤地黄色文字
  - 7-4-2 国際A級（スーパークラス除く）：赤地白文字
  - 7-4-3 国際B級：緑地白文字
  - 7-4-4 国際A級スーパークラスのメカニック：黄地赤文字
  - 7-4-5 国際A級のメカニック（スーパークラス除く）：白地赤文字
  - 7-4-6 国際B級のメカニック：白地緑文字
- 7-5 メカニックのゼッケン番号は、当該メカニックを登録するライダーと同じとする。

## 8 メカニック

- 8-1 メカニックの登録
  - 8-1-1 ライダー1名に対し、1名のメカニックが認められる（登録できる）。
  - 8-1-2 メカニックは、ライダーの出場申込みの際同時に登録しなければならない。この場合ライダーは、登録したメカニックの行動すべてに責任を負うことを認めたものとみなされる。（メカニックの受けた罰則は、登録したライダーもその罰則を同時に受ける。）
  - 8-1-3 登録したメカニックは、有資格者であれば変更が認められる。この場合大会当日の出場者受付において変更手数料（1,000円）を添えて申し込まなければならない。
  - 8-1-4 ライダー単独でエントリーした場合、大会当日のメカニック登録はできない。
  - 8-1-5 大会により、メカニックの登録を認めない場合がある。
- 8-2 メカニックの義務
  - 8-2-1 メカニックミーティングが開催される場合、必ず出席しなくてはならない。
  - 8-2-2 移動コースは、特に指示の無い場合ライダーと同一とする。逆走はできない。
  - 8-2-3 メカニックは、登録したライダーと同時にスタートしなくてはならない。
- 8-3 メカニックの行なって良い行為（下記以外は認められない）
  - 8-3-1 パドック以外での車両整備（部品の交換を含む）は、選手本人およびその選手に登録さ

## 2004年全日本トライアル選手権大会特別規則

れたメカニックのみが行なうことができる。

- 8-3-2 メカニックは原則としてセクション内に立ち入ることはできない。ただしトライ失敗の際の補助（安全上の目的）として、その選手に登録されたメカニックのみがセクションオフィシャルの許可を受けた場合に限り、そのセクション内への立ち入りが認められる。

## 9 車両検査

- 9-1 競技前の車検に合格した車両にはステッカーが貼付され、下記に記す部分にマーキングを行なう。
- 9-2 マーキングを受けた部品以外は、車検後でも交換することができる。
- 9-3

パーツ名	マーキング（ペイント）部分
フレーム	フレーム前方(ステアリングヘッド)右側
クランクケース	右側
サイレンサー	サイレンサー本体

※シリンダーへのマーキングは不要

## 10 スタート

- 10-1 第1戦のスタート順序はゼッケン下位からとする。
- 10-2 第2戦以降は、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートし、次いで前戦までのランキング下位の者からスタートする。

## 11 結果の記録（スコアカード）

- 11-1 ライダーはスタート時にスコアカードを受け取り、各ラップごとに交換すること。
- 11-2 セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 11-3 セクションをトライしてもパンチを受けないで次のセクションへ入った場合、前セクションは“セクション見落とし”とみなされる。（減点10）
- 11-4 スコアカードの破損等によって、採点が確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 11-5 スコアカードは選手自身がパンチを受け、管理しなくてはならない。
- 11-6 スコアカードを紛失した場合、失格とされる。
- 11-7 スコアカードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 11-8 スコアカードの交換場所は、大会特別規則（公式通知）に示される。

## 12 持ち時間（タイムキーピング）

- 12-1 持ち時間
- 12-1-1 ライダーの持ち時間は特別規則に記載される。すべてのライダーに、完走するための持ち時間が同様に与えられる。
- 12-1-2 スタート時間に遅れたペナルティは1分まで毎に1点。20分以上の遅れは失格となる。
- 12-1-3 ゴール時間に遅れたペナルティは1分まで毎に1点。20分以上の遅れは失格となる。
- 12-2 スタート時間管理  
スタート時間コントロールは、スタート地点で行われる。
- 12-3 ゴール時間管理
- 12-3-1 特別規則（公式通知）に記載されなかった場合、タイムコントロールは最終セクションを出てすぐに、明確に、そして良く見えるように設置される。タイムコントロールでタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内に最終ゴール地点でゴールチェック（車両チェック）を受け、採点カードを係員に提出すること。この時

- 点でゴール完了となる。
- 12-3-2 ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。
  - 12-4 セクション持ち時間
  - 12-4-1 各セクションにセクションを走りきるための持ち時間が与えられ、この時間内にセクションアウトできなかった場合は“失敗”となる。
  - 12-4-2 特別規則（公式通知）に記載されなかった場合、セクション持ち時間は1分となる。（変更される場合、最長で1分30秒）
  - 12-4-3 セクションでのタイムは、計測が開始されたことを知らせるためのホイッスルを所持するオフィシャルによって計測される。
  - 12-4-4 ライダーが持ち時間以内にセクションを走りきれなかった場合、そのライダーは失敗とみなされ、オフィシャルは失敗を告げるホイッスルを長く鳴らす。
  - 12-5 ラップ持ち時間
  - 12-5-1 すべてのライダーに、第一ラップを走りきるための持ち時間が同様に与えられる。
  - 12-5-2 特別規則(公式通知)に記載されなかった場合、第一ラップ持ち時間は3時間30分となる。
  - 12-5-3 第一ラップ終了後のタイムチェックに遅れたペナルティは1分まで毎に1点。20分以上の遅れは失格となる。

## 13 セクション

トライアル競技細則に定める減点に加え、下記減点を科す。

- 13-1 セクションでの持ち時間
- 13-1-1 各セクションにセクションを走りきるための持ち時間が与えられ、この時間内にセクションアウトできなかった場合は、“失敗”となる。
- 13-2 減点
- 13-2-1 ライダーまたはメカニックがセクションを著しく変化させた。 5点
- 13-2-2 オフィシャルの許可を受けずに、メカニックがセクションに入った。 5点
- 13-2-3 ひとつのセクションで、いくつかの減点が累積する場合、もっとも重い減点だけが適用される。
- 13-3 しかし、以下の減点は加算される。
- 13-3-1 メカニックが、セクション審判の判定に反論した。 → イエローカード
- 13-4 罰金
- 13-4-1 メカニックが以下の条項に従わなかった。
- 13-4-2 モーターサイクル乗車中は、ブーツ、長ズボン、ヘルメットを装着しなくてはならない。
- 13-4-3 罰則1回目：罰金10,000円
- 13-4-4 罰則2回目：罰金20,000円
- 13-4-5 罰則3回目：罰金50,000円

## 14 イエローカード

- 14-1 オフィシャルの指示に従わないライダー（メカニック等含む）、および攻撃的な言動をとるライダーに対してイエローカードが提示される。
- 14-2 オフィシャルはカードの裏に当該ライダーのゼッケンを記入するとともに、そのライダーの行為について内容をメモする。
- 14-3 そのカードはただちに競技監督に集められ、何らかのペナルティを与えるかどうかの提案とともに審査委員会へ提出される。
- 14-4 審査委員会はカードを確認し、ペナルティを与えるかどうか判断するとともに再発防止のためにその行為を記録する。

## 2004年全日本トライアル選手権大会特別規則

- 14-5 たびたびイエローカードを受けるライダーには、更なるペナルティが課される。
- 14-5-1 罰則 1 回目：5 点加算
- 14-5-2 罰則 2 回目：5 点加算
- 14-5-3 罰則 3 回目：失格

### 15 賞および得点 (ポイント)

- 15-1 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラス（スーパークラスは除く）へベストクリー  
ン賞が与えられる（クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする）。
- 15-2 国際A級スーパークラス、国際A級、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
- 15-2-1 得点はMFJ国内競技規則第3章 [28公式得点] (40頁) によって与えられる。
- 15-2-2 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、  
その合計得点によって決定される。
- 15-2-3 国際A級スーパークラスは、出走台数に関わらず上位10位までにポイントが与えられる。
- 15-2-4 詳細は全日本選手権ランキング決定基準 (49頁) に示される。

### 16 同点

- 16-1 同点が生じた場合、0点（クリーン）がもっとも多いライダーを上位とする。
- 16-2 依然として同点だった場合1点が最も多いライダー、2点が最も多いライダー、3点が最  
も多いライダーという順序で判断する。
- 16-3 それでも同点だった場合、少ない所要時間（秒単位）で完走したライダーを上位とする。

### 17 本規則の施行

- 17-1 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、  
国内競技規則、トライアル競技細則による。

### 付則

2004年度トライアル・デ・ナシオン（国別対抗世界選手権）選手選出方法  
（男女ともに以下の選出方法が適用される）

トライアル・デ・ナシオンの選手は、トライアル選手会にて選出された選手をおよび監督を  
『日本代表選手選考委員会』にて審議の上、決定される。

#### ■選出の手順

- ① トライアル選手会から、デナシオン代表選手候補を最大4名、監督を1名選出する。
- ② 『日本代表選手選考委員会』を設置し、選手会から選出された代表選手および監督を審議、承  
認する。『トライアルデナシオン日本代表選手選考委員会』は、当該年度の第1回トライアル委  
員会前に結成され、トライアル委員会にて承認される。

議決権を持つ『日本代表選手選考委員』は、以下のとおり

- ・MFJトライアル委員長
- ・MFJトライアル副委員長
- ・ジャーナリスト代表（1名）
- ・選手会代表（1名）
- ・MFJ事務局（1名）

※選考委員の利害関係が選考対象となった場合、当該委員の代理を選出する。

#### ■選出基準

トライアル選手会による候補選手の選出は、世界選手権および全日本選手権・その他公認競技  
会の成績をもとに選出する。また、当該選手が負傷等の理由により出場が難しくなった場合は補  
欠選手が出場する。

監督は、それまでの経験・実績が考慮され、かつ代表候補選手の総意で選出され、選考委員の  
承認を得た人物であること。

## 2004年 MFJ全日本トライアル選手権シリーズ開催日程

開催月日	大会名	出場申込先	会場	出場申込期間
3月13日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第1戦 関東大会	MFJ関東支部 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-5 アルス新大塚202 ☎03(3971)0022	茨城県 真壁トライアル ランド	2月3日(火)
3月14日(日)				2月12日(木)
3月27日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第2戦 九州大会	MFJ九州支部 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-11-9 メゾンド水巻1F-B ☎092(473)2616	熊本県 矢谷溪谷トライアル 場	2月17日(火)
3月28日(日)				2月26日(木)
5月8日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第3戦 関東・新潟大会	ケプラン内全日本TR係 〒951-8154 新潟県新潟市掘割町1-7 ☎025(232)1811	新潟県 大日ヶ原 トライアル場	3月30日(火)
5月9日(日)				4月8日(木)
6月5日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第4戦 近畿大会	MFJ近畿支部 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(6534)6422	兵庫県 猪名川サーキット トライアルパーク	4月27日(火)
6月6日(日)				5月26日(木)
8月7日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第5戦 北海道大会	MFJ北海道支部 〒001-0925 北海道札幌市北区新川5条20丁目1 番20号新川地区工業団地内 ☎011(768)3988	北海道 わっさむ サーキット	6月29日(火)
8月8日(日)				7月8日(木)
9月11日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第6戦 中国大会	MFJ中国支部 〒733-0036 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	鳥取県 HIROスポーツラ ンド	8月3日(火)
9月12日(日)				8月12日(木)
10月9日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第7戦 中部大会	MFJ中部支部 〒466-0812 愛知県名古屋市昭和区八事富士見 1603 ☎052(833)9676	岐阜県 坂内バイクランド	8月31日(火)
10月10日(日)				9月9日(木)
10月23日(土) }	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第8戦 東北大会	MFJ東北支部 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町3-3-10 ☎022(284)9484	宮城県 スポーツランド SUGO	9月14日(火)
10月24日(日)				9月23日(木)

## 2004年トライアル主要競技会カレンダー

開催月日	大会名	出場申込先	会場
5月22日(土) }	トライアル世界選手権シリーズ 日本大会	(株)日本モーターサイクルスポーツ協会TR係 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル 別館7F ☎03(5565)0900	栃木県 ツインリンクもてぎ
5月23日(日)			
11月14日(日)	MFJトライアル グラッドチャンピオン大会	MFJ近畿支部 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(6534)6422	兵庫県 猪名川サーキット

開催月日	大会名	開催場所
9月25日(土) }	2004年トライアル・デ・ナシオン	スペイン
9月26日(日)		